

令和4年度 全国学力・学習状況調査 結果概要と改善策

令和4年4月19日(火) 第3学年 実施
旭川市立明星中学校

学力調査

質問紙調査

	成果が見られる設問	課題が見られる設問	課題への主な改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫する。 自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す。 助動詞の働きについて理解し、目的に応じて使う。 文脈に即して漢字を正しく書く。 表現の技法について理解する。 場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈する。 漢字の行書の読みやすい書き方について理解する。 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えが伝わる文章になるように根拠を明確にして書く。 場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉える。 行書の特徴を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本や資料などから文章などを引用するとき、引用に用いる情報は「」でくくるなど、情報の扱い方や引用の仕方についての理解を一層深め、適切に表現できるよう日頃から指導する。 「読む」ことにおいては、叙述の細かな違いに注意して読みそれぞれの叙述が表している心情の違いを考えるなど、より細部の描写にも着目しながら物事の様子や場面、行動や心情の変化などを丁寧に捉える指導を一層充実させる。 行書と楷書の違いは理解できているものの、行書における「省略」「連続」への理解が曖昧なため、毛筆の活動において、点画の連続や省略、筆順の変化などの行書の特徴が、書いた文字のどの部分に表れているのかを具体的に考える活動を取り入れる。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 反例の意味を理解している。 一次関数の変化の割合の意味を理解している。 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明できる。 結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明できる。 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明できる。 筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然数を素数の積で表すことができる。 簡単な連立二元一次方程式を解くことができる。 データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。 箱ひげ図から分布の特徴を読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 素因数分解、または連立二元一次方程式などの基本的な学習内容の定着を図るよう、知識・技能を高めるための復習の時間を確保する。 データの活用に関わる学習内容についても、比較的学習時間が少ない生徒が多いと予想されるため、数学的な表現を用いて説明する学習を充実させるとともに、箱ひげ図などの学習内容については、課題や復習の時間を確保するなどして、対策を行う。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ばねが縮む長さに加える力の大きさの関係について、適切に処理されたグラフを選択する。 玄武岩の露頭で化石の観察が可能か判断し、その理由を選択する。 アリの視覚による情報を基に行列をつくるかを調べた実験結果を基に、課題に正対した考察をする。 ある生物が昆虫類かどうかアリと比較しながら、観点と基準を明確にして判断する。 	<ul style="list-style-type: none"> 気象要素の変化をグラフから読み取り、雲の種類の変化と関連付けて、適切な天気図を選択する。 脊椎動物の骨格の共通点から、カラスの関節に対応するヒトとカエルのあしの関節を選択する。 吸湿発熱繊維に水蒸気を多く含む空気を通した実験結果だけで行った考察について、課題に正対しているかを検討し、必要な実験を指摘する。 	<ul style="list-style-type: none"> 理科の見方・考え方を働かせて、観察・実験の結果を適切に考察する力が不足しているため、結果を分析・解釈し、科学的根拠を基に考えを表現する活動場面を多く設定していく。 仮説の妥当性を検討したり、多面的・総合的に考察をする力が不足している。実験結果が仮説と違った場合に、仮説や実験方法を再検討したり、なぜそのような実験結果になるか分析・解釈したりする活動を意図的に設定していく。

※ △：全国より高い ▲：全国より低い

○肯定的な回答の割合が90%を超える設問

- 毎日、同じくらいの時刻に起きている。△
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。△
- 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。△
- 人が困っているときは、進んで助けている。△
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。△
- 人の役に立つ人間になりたいと思う。△
- 友達と協力するのは楽しい。▲
- 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う。△

いじめは許されない、困っている人を助けるなど、人として大切な資質を身に付けている生徒が多い

●肯定的な回答の割合が60%を下回る設問

- 自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがある。▲
- 地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある。△
- 今住んでいる地域の行事に参加している。▲
- 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。△

自己とのつながりを実感できる地域行事や取組の積極的な情報発信が必要

■メディア利用に関する設問

- 普段、ゲームを1日2時間以上する。△
- 普段、SNSや動画視聴を1日2時間以上する。△
- 学校の授業以外の時間に、普段、1日あたり1時間以上読書をする。▲
- 新聞を読んでいる。▲

自己管理能力（学習時間とゲーム、SNS等）の育成が必要

■「主体的・対話的な学び」に関する設問

- 1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。△
- 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。△
- 学級の生徒と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。△
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。△
- あなたの学級では、学級活動をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。△
- 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。△
- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。△

学力向上に向けたロードマップ

月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
カリキュラム・マネジメント	■教育課程の編成 ■実施/評価/改善 → ■年度末評価 → ■教育課程の編成 ■実施/評価/改善																	
学力・学習状況調査等の活用	■調査/自校分析 ■分析結果/改善策の共有 ■調査/自校分析																	
授業改善	■主体的・対話的で深い学びの実践 ■各種研修会への参加 ■教科指導等研修 ■授業力向上プロジェクト/教育課程改善協議会（市教委）																	
学習サポート	■放課後学習「ブリッジ」（年間15回） ■定期テスト前学習「プラス」（年間7回）																	
学習習慣・生活習慣づくり	■学習の進め方指導 ■スクールライフ（振り返り） ■スクールライフ ■学習の進め方指導 ■「明星夢ダイアリー」によるセルフマネジメント ■教育相談 ■教科相談 ■教育相談 ■教科相談 ■教育相談																	

学力向上に向けた今後の取組

全教育活動の改善へ

1 主体的・対話的で深い学びを視点からの授業改善

- 「主体的・対話的で深い学び」を実現する学習過程の意識
 - ・見直し～課題の設定と共有、課題や解決方法の見直し
 - ・探究～自分で課題の解決、集団で課題の解決
 - ・振り返り～学んだ内容のまとめ、自他の変容、次の課題意識
- 「学習課題」と「まとめ」の正対を意識した、身に付けさせたい資質・能力の育成
- 個人思考や集団思考を発表につなげるための「思考の言語化カード」の活用
- 教科指導におけるICTの効果的な活用

2 望ましい学習・生活習慣づくり

- 学習履歴の可視化による主体的な学習習慣の定着、生活面の記録による自己の生活を見直し、規則正しい生活習慣の確立を目指した「明星夢ダイアリー」の活用
- 教科オリエンテーションによる家庭学習への取り組み方のガイダンス
- ICTを活用した指導の個別化と学びの機会の確保

3 自己の将来を見つめ、よりよい生き方を探究するキャリア教育の推進

- 社会的自立に向け、基盤となる能力や態度を養う体験活動の在り方の工夫